



報道機関各位

～富山県 VS 北九州市！あなたの“推し”はどっち？～
大阪での「すし対決」&連携協定締結式 開催決定！

この度、北九州市と富山県のすしを大阪で振る舞うイベントの開催が決定しました！これは、6月12日に富山県で開催された世界初の「すし会談」にて、「すしの都 北九州市」を掲げる北九州市と、「寿司といえば、富山」のブランディングを推進している富山県とで交わされた“**すしのゴールデンルート**をつくる”という構想によるもので、その記念すべき第一歩として、両地域の間地点であり、現在万博で賑わう大阪で連携イベントを実施することとなりました。



イベントでは、両地域のすしの振る舞いはもちろん、トークショー、抽選会などを実施するほか、「すしのゴールデンルート」に向けた北九州市・富山県、そしてその両地域を繋ぐJR西日本の三者による連携協定締結式を行います。

また、連動企画として、8月15日から28日まで、JR大阪駅内にて両地域のプロモーションパネルの展示も行います。

ぜひ、取材方よろしくお願いいたします。

- 1 日時 令和7年8月26日（火）13時30分～16時00分
- 2 場所 KITTE大阪2階JPカフェ
(大阪市北区梅田3-2-2JPタワー大阪内)
- 3 出席者 北九州市長 武内 和久
富山県知事 新田 八朗
西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役会長 長谷川 一明 ほか
※イベント詳細は別紙のとおり

4 取材について

取材を希望される方は、下記フォームよりお申込みください。

申込フォーム〔富山県〕<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/qKtgmgzN>

【申込〆切：令和7年8月22日（金）17時】



【問合せ先】

都市ブランド創造局 すしの都課
担当：大浦、徳田 TEL：093-482-1950

※取材申込先

富山県知事政策局 ブランディング推進課
担当：前山、柴田 TEL：076-444-3478

大阪での連携イベント詳細（案）

富山県×北九州市×JR 西日本 すし連携協定締結イベント ～大阪夏の陣～

■日時：令和7年8月26日（火）13：30～16：00

場所：KITTE大阪2階JPカフェ（大阪市北区梅田3-2-2JPタワー大阪内）

■全体の流れ（どの時間帯からでも取材いただけます）

13：30～ メディア試食会（試食用すしの撮影もこの時間帯で実施いただけます）

14：00～ 一般客試食会（インタビューの実施が可能です）

＜調印式開始前に、これまでの経緯説明、動画放映など＞

14：50～ 連携協定締結式

- ・両首長・JR 西日本によるプレゼン
- ・三者の調印締結式
- ・メディア質疑応答

15：30～ トークショー、抽選会

終了後 招待客（トークショー参加者）試食

○すしの振る舞いについて

関西在住の方に、北九州市と富山県のすしを試食していただきます。

両地域各2貫、合計4貫をお召し上がりいただく予定です。

すしを握るのは、北九州市の廻転寿司平四郎、富山県の粋鮨の2社です。両社は、現在、すし会談をきっかけに両地域のすしを店舗で食べ比べできるイベントを開催しています。

○トークショーについて

両首長・JR 西日本代表取締役会長の長谷川一明氏・ガストロノミープロデューサーの柏原光太郎氏（※）が登壇、MCには元テレビプロデューサーの西田二郎氏（※）を招き、両地域のすしの魅力やすしのゴールデンルート構想について語ります。（※）略歴別紙2、3

○参加者について

事前申し込みによる一般客および招待客

（試食参加は、大阪駅前展示会場やHOKURIKU+での事前受付を想定しています。）

○メディアの皆様用のすしについて

一般客試食前の13時半より、メディアの皆様用にすしをご用意いたします。

＜連動企画（駅前展示）＞

■期間：令和7年8月15日（金）～8月28日（木）

場所：JR大阪駅 大阪ステーションシティ 1階 旅立ちの広場

柏原 光太郎（かしわばら こうたろう）氏 略歴

- ・一般社団法人日本ガストロノミー協会会長
- ・食の熱小学校校長
- ・ガストロノミープロデューサー



「すしの都課」の新設に伴い、すしをきっかけに国内外から多くの方に来ていただける「美食のまち 北九州市」を目指すにあたり、戦略的かつ効果的に事業を推進していくため、令和7年5月1日に北九州市参与（食の魅力戦略担当）に就任いただいた。

<経歴>

1963年東京生まれ。慶応義塾大学経済学部を卒業後、株式会社文藝春秋に入社。「週刊文春」「文藝春秋」「オール読物」編集部を経て「文春文庫」編集長、デジタル戦略事業局長、新規事業開発局長などを務め、「文春オンライン」、「文春マルシェ」の立ち上げを行った。

2018年、スペインのバスク州サンセバスチャンにある食の社交倶楽部「ソシアダガストロノミカ（美食倶楽部）」を日本に立ち上げようと「一般社団法人日本ガストロノミー協会」を設立、会長に就任。有名シェフ、生産者、地方自治体などとイベントを行い、食の多角的な楽しみを行うハブのような存在として活動。また2023年より生産者と消費者をつなぐための大人の学び舎「食の熱中小学校」の校長を務めている。

食ベログでは「グルメの著名人」としてフォロワー5万人以上。「JBプレス」「味の手帖」「食ベログマガジン」など多数のメディアに執筆するほか、メディアサイト「note」にて飲食業界のキュレーションを毎日行い、外食産業関係者とのつながりも深い。東京都、三重県、富山県、大阪府、山形県、福井県、山梨県等でガストロノミーツーリズムに関する多くの講演を行っている。著書に『ニッポン美食立国論』、『東京いい店はやる店』がある。

※ガストロノミーとは
その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しむこと、食文化に触れること。

西田 二郎（にしだ じろう）氏 略歴

- ・一般社団法人 未来のテレビを考える会 代表理事
- ・静岡新聞 静岡放送ＣＣＩＯ
- ・LocoStar 株式会社代表取締役



<経歴>

読売テレビ入社後「11PM」「EXテレビ」を経て、20年以上「ダウンタウンDX」を演出したほか「松紳」「ものごつつええ感じ」「ガリゲル」などのバラエティを演出。

EXテレビ「視聴率調査機のある2600世帯だけにおくる限定番組」で日本民間放送連盟賞最優秀賞（1990）。

西川のりおを台車にのせた「押して！」関西ディレクター大賞新人賞。

「ハイビジョン鳥人間」でElectric cinema festival 監督賞。

タレントに頼らないバラエティ「西田二郎の無添加ですよ！」で日本民間放送連盟賞優秀賞（2003）。

その後、営業企画、編成企画やビジネスプロデュース局事業開発、DX推進などに関わる。

第一興商つなげるプロジェクト、放送連動LINE LIVE企画、パインアメの日企画や News Picks「MAKE MONEY」、流通科学大学オープンキャンパスイベントなどテレビとビジネスを繋げる施策などを手掛ける。

ユーチューブでは、みちよば、ノブコブ吉村、のん、宮川大輔らと「越境放送」プロジェクトやサンブリッジCEOで投資家のアレンマイナー「ビジワンTV」一方、「水曜どうでしょう」ディレクターの藤村忠寿と「一般社団法人 未来のテレビを考える会」立ち上げ、メディア人としての未来の人材育成を提言するほか大学や企業での講演多数。

音楽活動ではNj 名義にて日本クラウン所属し、NPO法人 京都フィルハーモニー室内合奏団 副理事長も務め、FM大阪にて自身のラジオも持ち、2019年地域を輝かせる応援ロック「ロコの星」にてメジャーデビュー。

2025年3月読売テレビを退職。静岡新聞 静岡放送ＣＣＩＯ（チーフ コンテンツ イノベーション オフィサー）に就任。株式会社エビリー顧問はじめメディアとビジネス、エンターテインメントのイノベーションをプロデュースする。

著書は「てれびバカ」（著：西田二郎/藤村忠寿）、「バカとも付き合って」（著：西田二郎/マキタスポーツ）